

## 2024年度 報告書



# 絵本を届ける運動

# 2024

本  
の  
力  
を  
、  
生  
き  
る  
力  
に  
。



シャンティ国際  
ボランティア会  
Shanti Volunteer Assoc.

## なぜ絵本を届けるの？

本を知らないということは、つまり教育を受ける機会がないということ。教育を受けることができないと、安定した仕事に就けず、貧困から抜け出すことができません。学校や図書館などが不足している国では、子どもたちが学ぶ機会を持てないまま、大人になってしまいます。

シャンティは厳しい環境で暮らす子どもたちにも、知らない世界を知るドキドキ、時間を忘れて夢中になる楽しさ、たくさんの物語や言葉を知る喜びに出会ってほしいと願い、絵本が不足している地域に

日本から翻訳絵本を届けています。



## 争いが続くミャンマーにも絵本を

2021年の政変以降、ミャンマーでは軍事政権の下で、民主派や少数民族と軍事政権との間で争いが続き、全土で戦闘が拡大しています。戦闘が激しい地域では学校が閉鎖され、子どもたちが学校に通うことが難しい状況が続いています。

シャンティは10年前からミャンマーで学校建設、図書館活動、絵本紙芝居出版を続けてきました。日本から届く翻訳絵本は公共図書館や学校図書館の本棚に並び、子どもたちのよりどころになっています。



ミャンマーの子どもたちが絵本を手にする映像をこちらからご覧いただけます。

## あなたのつくった 翻訳絵本が届くまで

### 1 翻訳絵本づくり

ご自宅や職場で、絵本に現地語の翻訳シールを貼っていただきました。

2024年1月～10月  
のべ16,674人 420企業・団体が参加  
(参加費・募金額：59,843,262円)

毎年の申込期限：10月末まで



### 2 翻訳絵本を海外へ

翻訳絵本はシャンティ東京事務所に集められます。梱包した翻訳絵本を運び出すのは年1回です。

2025年2月3日  
シャンティの職員や関係者  
37名が参加



### 3 海外事務所に到着

日本から船便や航空便で各国・地域のシャンティ事務所に届きます。船便輸送は日本郵船株式会社様にご協力いただいています。

2025年3月～4月ごろ到着予定



### 4 子どもたちの手元へ

- ・移動図書館
- ・おはなしの読み聞かせ
- ・学校や図書館への配架などの活動を通して、翻訳絵本が子どもたちへ届きます。

2025年5月以降





# 「絵本を届ける運動」は 2024年に25周年を迎えました

「絵本を届ける運動」は1999年から活動を開始し、2024年に25周年を迎えました。そこで10月に、これまで活動を支えてくださった皆さまへ、感謝の気持ちを伝えるとともに、これまでの活動の歴史と実績を振り返りながら、絵本が持つ力について考えるイベントを開催しました。

イベントでは、シャンティの活動の原点から、「絵本を届ける運動」が始まり今に至るまでのあゆみを振り返りました。また、シャンティの活動地のひとつである、ミャンマー（ビルマ）難民キャンプから届いた、翻訳絵本を受けとる人々の声をご紹介します。ここでは、イベントの様子をご紹介します。

## History



活動開始当時の「絵本1冊運動」の様子



初期の頃の「翻訳絵本作成セット」

## 活動のあゆみ

元々は「絵本1冊運動」という呼び名で、活動地の子どもたちに絵本を届けていました。それがどのようにして「絵本を届ける運動」へ取り組みの流れを変えてきたか、その様子と背景をお伝えしました。

## Voice

### 届ける翻訳絵本のテーマ選びについて

これまで届けた「家族」にまつわる絵本の一部



絵本と一緒に読むことで、家族の繋がりを深めて欲しいとの思いを込めて

### これまで届いた翻訳絵本とそのテーマ「自然や科学にまつわる絵本」



「ふゆとみすのまほう ごおり (ポプラ社)」も子どもたちから人気の高い絵本のひとつ

イベント当日のスライドより

## 翻訳絵本を受けとる人々の声

### ミャンマー（ビルマ）難民キャンプから

これまで届けてきたさまざまな翻訳絵本の中でも、特に子どもたちからの人気が高いものをいくつか紹介しました。また、子どもたちと直接関わる活動地の図書館員や学校の先生、シャンティの現地職員がどのようなテーマの絵本を希望しているか紹介しました。

## イベントを開催しました！



2024年10月5日東京事務所にて



イベントの記録映像はこちら

## Power



図書館に集まる子どもたち

## 本が持つ力

「絵本を届ける運動」が始まった当初より、この活動に携わっている現地の職員が、絵本を読む子どもたちの姿を通して感じてきた、本が持つ力について語りました。図書館がたくさんの人々の居場所になっている様子も、写真や動画でご覧いただきました。

## Message

### 25周年に寄せたメッセージ

これまで活動を支えてくださったみなさまより、「25年もの長きにわたり、子どもたちに夢と希望、大きな喜びの種を蒔いてこられた貴重な活動をお祝い申し上げます。今後も絵本の力で多くの子どもたちに夢が届けられることを祈っております」といったメッセージをお寄せいただきました。

シャンティ国際ボランティア会は特定公益増進法人の認定を受けています。「絵本を届ける運動」への参加費はご寄付として、税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。領収書が必要な方はご連絡ください。

## 翻訳絵本を届ける先について

2024年度より政情の影響を受けて、アフガニスタン向けの翻訳絵本は収集を中止しています。一方2025年度より、ビルマ語とカレン語の翻訳絵本を、シャンティが支援するタイの移民学校に新たに届ける予定です。2025年度は18,137冊を目標にしています。変わらぬご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

毎年のお申し込み期限 **10月末まで**

\*目標冊数に達した時点で申し込み受付を終了いたします。

## 2025年度のお申し込みはこちらから

🔍 シャンティ 絵本を届ける運動



sva.or.jp/ehon



## 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 Shanti Volunteer Association (SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

Tel. 03-6457-4585 (「絵本を届ける運動」直通) / 03-5360-1233 (代表)

Fax. 03-5360-1220 E-mail. ehon@sva.or.jp

「絵本を届ける運動」2024年度 活動報告書 2025年3月1日

後援：文部科学省、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 読書推進運動協議会

助成：公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 | 輸送協力：日本郵船株式会社

デザイン：保田 卓也 | 写真協力：川畑 嘉文 | イラスト：きよはら えみこ

[写真中の絵本] 〈福音館書店〉『きんぎょがにげた』作：五味太郎、『ぞうくんのあめふりさんぽ』作：なかのひろたか、『にじ』文：さくらい じゅんじ、絵：いせ ひでこ、『じゃぐちを あけると』作：しんぐう すずむ(偕成社)『こりをすきになった山』文：アリス・マクレーラン、絵：エリック・カール、訳：ゆあさ ふみえ(ペンギン社)『くんちゃんにじ』作・絵：ドロシー・マリノ、訳：間崎ルリ子、『はちうえはぼくにまかせて』作：ジーン・ジョン、絵：マーガレット・プロイ・グレーム、訳：森比左志(こぐま社)『わたしのワンピース』作：にしまき かやこ(ほるぷ出版)『ちびゴリラのちびちび』作：ルース・ポンスタイン、訳：岩田みみ(出版ワークス)『ごめんなさい! だいじょうぶ!』作：ルイス・スロボドキン、訳：こみや ゆう(光村教育図書)『たいそうするよ』作：高島純



受け取った人たちの声

# Afghanistan

**アフガニスタン** ファトゥマさん〔仮名〕(シャンティ職員)

シャンティが運営する図書館には、これまでの人生で見たことがないほど、たくさん本が並んでいて大変驚きました。どの絵本も好きですが、特に女性の功績についてかかれた絵本や、子どもたちに学びを促すような絵本を読みたいです。子どもたちには教育を受け続け、独立し、男女による差別を受けることなく生きてほしいと思います。



# Laos

**ラオス** ジェッキーさん (教員)

教えることが好きで、子どもたちの学びをサポートしたいと思い教員になりました。絵本を読むことは子どもたちの自発的な学びにつながっています。子どもたちが楽しそうに絵本を読んでいる姿を見ると、とてもうれしくなります。学校の図書館にはまだまだ本が足りないなので、ほかの教員や生徒の親たちと協力をしながら、もっと本を増やしていきたいです。



# Myanmar

**ミャンマー** スー・ナディ・アイさん (図書館を利用する子ども)

図書館には週に3回は通っています。特に好きな絵本は『ごめんねさい! だいじょうぶ!』(出版ワークス)です。お気に入りの絵本は何度も読み返しています。この本から、丁寧な話し方や、礼儀正しくすることの大切さを学んだので、これからも同じようなテーマの絵本をもっと読みたいです。将来は父と同じ、デザイナーになることが夢です。



# Cambodia

**カンボジア** ポーン・キムナイさん (図書館を利用する子ども)

両親と妹、弟と一緒に暮らしています。図書館には週3、4回通っています。お気に入りの絵本は『にじ』(福音館書店)です。飛行機が虹の前を飛ぶところが、とてもきれいで特に好きです。バレーボールが好きなので、将来はバレーボールの選手になりたいです。今後は野生動物が出てくる絵本をもっと読みたいです。



## 届いた翻訳絵本は シャンティの教育文化支援活動に 役立てられています

2024年度に「絵本を届ける運動」を通じて届けた翻訳絵本の冊数

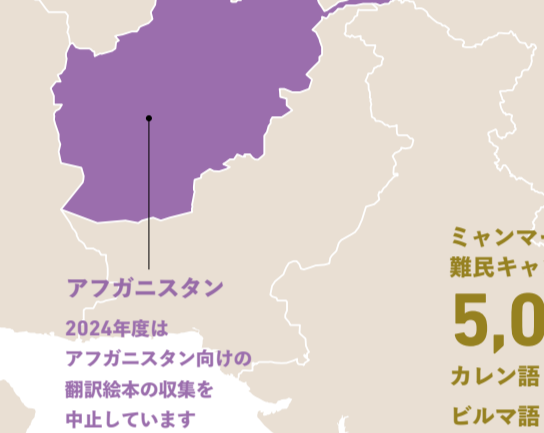
合計冊数 (2024年度末まで)

# 18,631冊

日本での参加者数

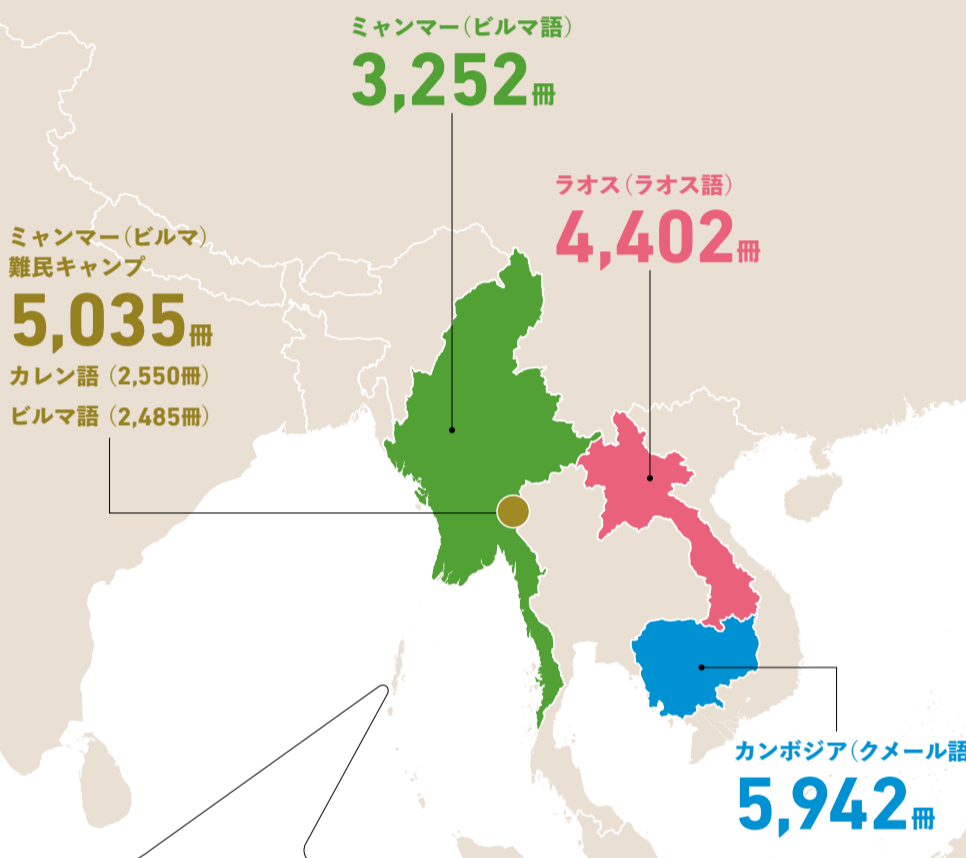
# 16,674人 (のべ)

# 420企業・団体



絵本タイトル数  
**37** タイトル (18社)

クメール語	5,942冊
ラオス語	4,402冊
ビルマ語	5,737冊
カレン語	2,550冊



# Japan

2024年度に「絵本を届ける運動」に参加した方々の声

**企業での参加**  
心温まる運動に参加させていただきありがとうございます。会社の呼びかけでしたが、夏休み中の娘(小学生)がほぼ完成させてくれました。パンフレットも一緒に読み、活動の大切さが少し分かったと思います。

**個人での参加**  
今年も参加することができてうれしいです。「この絵本を手にとってくれるのは、どんな子どもたちかな」と思いをはせながらシールを貼りました。少しでも幸福を感じてもらえるような時間を絵本が届けてくれるといいですね。

**団体での参加**  
絵本が好きで、アジアの子どもに絵本を届けるという活動に興味があり参加しました。子どもと二人でじっくり時間をかけてひとつのものをつくるということが久しぶりで、良い時間を持てたと思います。

難民キャンプの存在や、子どもたちの置かれている状況を知り、絵本の大切さ、すばらしさを改めて感じる事ができました。難民キャンプの子どもたちが絵本を読み、笑顔になってくれることを願っています。

# Myanmar (Burma) Refugee Camp

**ミャンマー(ビルマ) 難民キャンプ** ナー・ピ・メイ・ポーさん (図書館を利用する子ども)

図書館が大好きで、週に4日は絵本を読みに通っています。図書館員のみなさんはとてもやさしくて、一緒にゲームをしたり、絵本の読み聞かせをしてくれたりします。お気に入りの絵本は『たいそうするよ』(光村教育図書)です。落ち込んでいる日も、面白い絵本を読むとうれしい気持ちになります。将来は医者になって、家族や地域の人たちを助けたいです。



## シャンティ国際ボランティア会とは

1981年に設立したアジアを中心に活動する、日本生まれのNGOです。子どもたちへの本を通じた教育文化支援、国内外の災害や紛争後の緊急人道支援を行っています。

「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて取り組んでいます

2015年9月に国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。シャンティは「目標4.質の高い教育をみんなに」を実現するため、教育課題の解決に取り組んでいます。また、「SDGs」「国際理解」などをテーマに、絵本をつくりながら行うワークショップを受け付けています。ご希望の方はウェブサイトよりお申込みください。



### 活動地の動画

「ラオス」どこへでも 誰にでも — ラオスの移動図書館活動 —

シャンティの活動地のひとつ、ラオスは50の民族が暮らす多民族国家です。ラオ族が全人口の約50%を占め、学校では公用語であるラオス語で授業が行われますが、小学校ではじめてラオス語

を学ぶ少数民族の子どもたちもいます。特に僻地の小学校では、そういった子どもたちに対する適切な授業の知識や技術が不足しています。学びたいと願うラオスの子どもたちと、彼らを支える先生、シャンティのラオス事務所の職員の声が動画にまとめました。



映像はこちらからご覧いただけます。



これまでに届けた翻訳絵本(累計)

合計 **419,351冊** (2024年度末まで)

タイトル数: 320タイトル  
出版社数: 43社  
参加者数: のべ342,783人  
参加企業・団体数: のべ3,442件

